



# 自衛隊栃木地方協力本部

## インターンシップで地元出身隊員が自衛隊を説明



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 1陸佐）は12月11日、栃木県宇都宮産業展示館で開催されたマイナビインターンシップ宇都宮において、自衛隊ブースを出展した。

これは大学生等を対象とした職業理解を図るためのイベントであり、約250名の参加者のうち、栃木地本のブースには46名の大学3年生等が訪れた。

当日は募集班長（古川3陸佐）が防衛省・自衛隊の概要や活動についてスライドを使って説明した。古川3佐は地元栃木県出身で、栃木県内の大学を卒業しているということもあり、経歴を紹介する

と参加者は打ち解けた雰囲気です。説明に耳を傾けていた。また、2月に栃木地本が東北で計画しているインターンシップについても案内した。

スライド説明後には、12月から募集課に臨時勤務している同県出身の藤田空士長が、女性隊員という立場で女性からの質問に応じた。自衛隊を選んだ理由や宮内生活、体力的についていけるか等、女性も働きやすい職場であることを紹介した。

参加者からは「自衛隊を知ることができていい機会だった」「定年まで働きやすい環境だと感じた」等の感想が聞かれた。また、「2月のインターンシップでは（東日本大震災での自衛隊の活動内容を現地で紹介してもらえたいということなので、興味がある）」と、関心を寄せる参加者の姿も見られた。

栃木地本は「今後もあらゆる機会を活用して自衛隊を広報し、防衛基盤の拡充に全力を尽くしていく」としている。



## 採用予定者説明会で前期教育について紹介

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 1陸佐）は12月18日、宇都宮地方合同庁舎において一般曹候補生（陸上要員）採用予定者説明会を開催した。

これは採用予定者が安心して入隊できるよう企画したものであり、当日は採用予定者及びその家族約70名が参加した。

説明は、実際に一般曹候補生の前期教育を担当する第17教育大隊の区隊長を務めている知元准尉が行った。知元准尉は入隊式に始まり、訓練を経て卒業式に至るまでの約3か月のスケジュールを紹介した。また、教育隊のコロナ対策から入隊前の注意事項等についても詳しく説明した。質疑応答の場面では、同隊の班長である北崎2曹も加わり、参加者からの質問に親身になって応じていた。

参加者からは「入隊先の部隊の人に話を聞いて良かった」「団体生活や体力面についていけるか心配だったが、気持ちが高まった」「自分の子を安心して送り出せそうだ」等の感想が聞かれた。

栃木地本は「多くの採用予定者が安心して入隊できるよう、今後もサポートを行っていく」としている。

